

火災による死亡・傷害の法的責任

誰が**刑事責任を問われるのか**、保険会社が支払いを拒むもの — そしてそれを防ぐ唯一の防護策。

80% 7,435

インドの都市火災が電気に起因する割合。 2022年だけで火災による死者数（NCRB）。

火災を拡大させるケーブルは、ポンプ・警報・非常口にも電力を供給しています — 最も必要なときにこそ機能しなくなります。

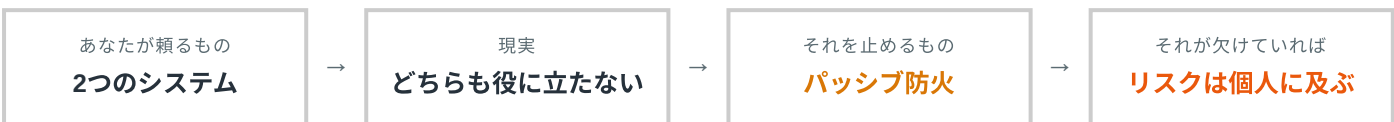
OSH Code 2020・BNS 2023・Consumer Protection Act 2019 のもとでは、火災による死亡は今や**個人の刑事犯罪**です。



火災はどこから始まるか — 通電中の電氣的故障。



誰が脅かされるか — 避難できない患者。



1 あなたが今日信頼しているもの — そしてなぜ両方とも失敗するのか

すべての建物は、命を守るために2つのシステムを信頼しています。しかしどちらも火災を止められません — なぜなら火災は、どちらも届かない場所から始まるからです：**パネルの内部、ケーブルの内部**。

システム I **アクティブ消火** ・消火器、スプリンクラー、警報器、消火栓

あなたが聞かされていること 火災を感知し、燃え広がる前に消し止めます。

実際に起きること — 火災は常に**一歩先**に行く

	最初の60秒	1-3分	3分後
火災	パネル内部でアークが発火する。	炎がケーブルトレイに沿って一気に広がる。	重要な回路はすでに機能停止している。
システム	沈黙 — 何も作動していない。	まだ沈黙 — 熱も煙も届いていない。	警報が鳴り、ようやく放水が始まる。

放水が始まる頃には、火災はすでにケーブルの中にあります。**システムは、すでに負けた火災と戦っているのです。**

システム II **FRLSケーブル** ・難燃・低発煙

あなたが聞かされていること ケーブルは火に強く、炎の燃料にはなりません。

実際に起きること — **わずかな時間を稼ぐだけで、やがて燃料になる**

FRLSは表面の延焼を20–40分遅らせ、煙を減らします — しかしケーブルは依然として可燃性です。重要なものは何も守れません：

- **耐火生存性能なし**。耐火生存ケーブルは時間単位で評価されますが、FRLSが稼ぐのは分単位です。
- **回路はやはり死ぬ**。絶縁体が炭化し、導体が短絡します — ポンプ、警報、換気が火災の最中に停止します。
- **二重の出費**。熱にさらされたケーブルはすべて撤去され、敷設し直されます — 工場・病院・ホテルは数週間の操業停止となります。

2 実際に火災を止めるもの — パッシブ防火

建物そのものに組み込まれるもの — 本来、初日から備わっているべきものです。

パネルは**発生源**。トレイは**拡大経路**。開口部は**出入口**。パッシブ防火はこの3つすべてを封じます — ケーブルと接続部を装甲し、あらゆる隙間を封止し、避難経路を守ります — **誰かが駆けつける前に火災を食い止め、重要な回路を生かし続けます。**

消火が間に合わず、FRLSはすでに機能せず、パッシブ防火は設置されていなかった — そのとき火災は人に及びます。その瞬間から、その結果は建物のものではなくなります。**それはあなたのものになります。**

3 それが欠けていて人が死亡すれば — その責任は個人的かつ刑事的なものになります

工場・産業施設	公共施設・ホテル・病院・商業施設
OSH Code 2020・犠牲者は労働者	州消防／分野別規制当局・犠牲者は利用客
法的責任 — 会社だけでなく、事業占有者たる取締役 & 管理者が個人として収監されます。(BNS 106/105/287/125) 保険 — 過失は補償されますが、詐欺や不告知は補償を無効にします。保険金額の不足は支払額を減らします。 行政 — 工場監督局＋消防；NOC & NBC-2025 の監査；危険物による被害には絶対責任。	法的責任 — 所有者、経営者 & 免許保有者が個人として収監されます — NOCを承認した担当官とともに。被害者は消費者としても提訴します。(BNS 106/105/287/125；CPA 2019) 保険 — 施設賠償責任保険は被害者を守り、病院は補償を上乗せしますが、刑事責任は保険では担保できません。 行政 — 用途区分全体が一斉に対象となります — 逮捕、免許取消、封鎖。裁判所が遵守状況を監視します。